

新

年



明けましておめでとうございます。

希望に満ちた初春を迎えるにあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、合併10周年の節目の年を市民皆様と慶祝するとともに年末に完成した市民待望の新庁舎のお披露目と落成式典を開催しました。

市民サービスの向上と効率的な行政運営に努め、新年から新庁舎で業務をスタートします。

国内の状況は、国のすすめる地方創生に関する事業の実施や経済対策等により景気は緩やかな回復基調で推移しているものの地方経済については、未だ厳しい状況が続いており、国においては、地方が景気回復を実感できるような、更なる経済対策をお願いしたいと思います。

また、口之永良部島新岳の噴火や箱根山などの火山性地震が頻発したほか、9月には関東・東北豪雨が発生し、鬼怒川の堤防決壊による甚大な被害が発生しました。

多くの国民が関心を示した安全保障

関連法の成立や環太平洋経済連携協定（TPP）の大筋合意など今後の国民生活に大きく影響する政治的な動きもありました。

明るい話題では、10月に大村智氏と梶田隆章氏のノーベル賞の受賞やラグビーワールドカップにおける日本代表チームの活躍がありました。

県内では、普天間飛行場の移設問題が混迷を深め、司法判断を仰ぐ事態に至っているほか、伊計島沖で米軍機の着艦事故が発生しました。

市政の面では、合併10周年記念事業として開催した「夏季巡回ラジオ体操」に4千人の参加があったほか、新しいまち「キャラである」うるうららもデビューしました。

将来を担う子ども達の活躍も相次ぎ、オールジャパン・ソロバン・チャンピオンシップ2015で優勝した名嘉真尚也君と全国高等学校体育大会女子テニスのダブルスで優勝、シングルで準優勝したリユー理沙マリーさんに対し青少年特別表彰を贈呈しました。

また、中部農林高校バイオ研究部が第2回高校生ビジネスプラングランプリで優秀賞を受賞、具志川商業高校の上間僚君が第18回高等学校ボウリング選手権大会で優勝するなどの活躍がありました。

更に、うるま市出身の上原健太君と國場翼君がプロ野球ドラフトで指名を受けました。今後の活躍を市民とともに期待

したいと思います。

地域産業においては、「豊かなむらづくり全国表彰」において、勝連南風原が農林水産大臣賞を受賞しました。各地域で活動する皆様の励みとなる受賞であります。

合併後のうるま市は、市建設計画に基づいた合併特例債を活用した教育関係施設をはじめとする各種の社会基盤整備を進め、10年前に比べ公共施設を含めたインフラ整備が格段に進んだことをご承知の通りでございます。

引き続き、石川多目的広場周辺整備や生涯学習・文化振興センターや農水産業振興戦略拠点施設の整備のほか、世界遺産の勝連城跡周辺整備事業等にも取り組んでまいります。

また、旧伊計小中学校には広域通信制高等学校が4月に開校することもあり、次の10年では更なる飛躍が期待できるものと確信しています。

結びに、市民の皆様にとりまして本年が幸多き二年になりますよう心から祈念しまして、新年のご挨拶といたします。

平成28年元旦

うるま市長

しまぶく
島袋 俊夫 としお